ふりがな　　さいとう　まこと

氏 名　　**齊藤 誠**

1. 学歴

1983 年　3 月　京都大学経済学部卒業

1988 年　9 月　マサチューセッツ工科大学経済学部博士課程入学

1992 年　6 月　同校卒業，Ph. D. in economics 取得

2. 職歴･研究歴

1983 年　4 月 － 1987 年　8 月　住友信託銀行勤務

1987 年　9 月 － 1988 年　8 月　スタンフォード大学経済学部客員研究員

1992 年　7 月 － 1995 年　6 月　ブリティシュ･コロンビア大学経済学部助教授

1995 年　7 月 － 1998 年　3 月　京都大学経済学部助教授

1998 年　4 月 － 2001 年　3 月　大阪大学大学院経済学研究科助教授

2001 年　4 月 －　一橋大学大学院経済学研究科教授

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

（a）学部学生向け

金融ファイナンス A，マクロ経済学

（b）大学院

金融経済論Ⅰ，上級マクロ経済学，中級マクロ経済学

B. ゼミナール

学部後期，大学院

C. 講義およびゼミナールの指導方針

学部･大学院の講義については，テキストや論文を徹底的に読む，きっちりとしたノートを作る，計算問題をどんどん解いていく，授業中やオフィスアワーを通じてできるだけ議論をするという演習的な側面を重視していきたい。

学部ゼミについては，資産価格，企業金融，ファイナンス理論に関係するトピックスについて自らでロジカルに考える習慣をつけることを目指す。英語と数学を大切にしていきたい。

大学院ゼミナールについては，マクロ経済理論やファイナンス理論に厳密に依拠した実証研究を指導していく。「出版を前提として論文を書く」という側面を重視する。

4. 主な研究テーマ

(1)不完備市場下の資産価格形成

(2)流動性と資産価格形成

(3)マーケットマイクロストラクチャー

(4)マクロ経済学

(5)金融政策

(6)エネルギー，自然災害リスク，排出権などに関する新しいタイプの金融取引

5. 研究活動

A. 業績

（a）著書･編著

『経済政策とマクロ経済学』，岩本康志･大竹文雄･齊藤誠･二神孝一，252 頁，1999 年 10 月，日本経済新聞社。

『金融技術の考え方･使い方：リスクと流動性の経済学』，齊藤誠，389 頁，2000 年 7 月，有斐閣。

『金融機能と規制の経済学』，岩本康志･齊藤誠･前多康男･渡辺努，226 頁，2001 年 10 月，東洋経済新報社。

『日本の金融再生戦略：新たなシステムの構築をどうするか』，齊藤誠編著，3-50 頁，281-289 頁，2002 年 5 月，中央経済社。

『先を見よ，今を生きよ：市場と政策の経済学』，齊藤誠，292 頁，2002 年 6 月，日本評論社。

『流動性の経済学：金融市場への新たな視点』，齊藤誠･柳川範之編著，1-22 頁，127-156 頁，209-224 頁，2002 年 6 月，東洋経済新報社。

『新しいマクロ経済学　新版』，齊藤誠，411 頁，2006 年 10 月，初版，273 頁，1996 年 10 月，有斐閣。

『成長信仰の桎梏：消費重視のマクロ経済学』，齊藤誠，228 頁，2006 年 12 月，勁草書房。

『資産価格とマクロ経済』，齊藤誠，362 頁，2007 年 6 月，日本経済新聞出版社。

『New Liberal Arts Selection: マクロ経済学』，齊藤誠･岩本康志･太田聰一･柴田章久，722 頁，2010 年 4 月，有斐閣。

『競争の作法　いかに働き，投資するか』，齊藤誠，233 頁，2010 年 6 月，ちくま新書。

『原発危機の経済学』，齊藤誠，286 頁，2011 年 10 月，日本評論社。

『人間行動から考える地震リスクのマネジメント：新しい社会制度を設計する』，齊藤誠･中川雅之編著，299 頁，2012 年 3 月，勁草書房。

『父が息子に語るマクロ経済学』，齊藤誠，358 頁，2014 年 8 月，勁草書房。

『大震災に学ぶ社会科学　第 4 巻 「震災と経済」』，齊藤誠編，308 頁，2015 年 5 月，東洋経済新報社。

『震災復興の政治経済学：津波被災と原発危機の分離と交錯』，齊藤誠，346 頁，2015 年 10 月，日本評論社。

『経済学私小説〈定常〉の中の豊かさ』，齊藤誠，2016 年 1 月，461 頁，日経 BP 社。

『非常時対応の社会科学ー法学と経済学の共同の試み』，齊藤誠･野田博編著，2016 年 3 月，430 頁，有斐閣。

『New Liberal Arts Selection: マクロ経済学　新版』，齊藤誠･岩本康志･太田聰一･柴田章久，790 頁，2016 年 4 月，有斐閣。

（b）論文（査読つき論文には*）

* "A study of household investment patterns in Japan: An application of generalized Tobit model," Takeshi Amemiya, Makoto Saito and Keiko Shimono, *The Economic Studies Quarterly* 44: 1 (1993), pp. 13-28, and in Takeshi Amemiya, *Studies in Econometric Theory*: *The Collected Essays of Takeshi Amemiya*, Economists of the Twentieth Century Series, Aldershot, U.K.: Elgar; distributed in the U.S. by Ashgate, Brookfield, Vt., (1994), pp. 454-469.

"Development of modern macroeconomics: An expository note," Makoto Saito, *The Kyoto University Economic Review* LXV (1995), pp. 43-52.

* 「人口高齢化と消費の不平等度」，大竹文雄・齊藤誠，『日本経済研究』33: 11（1996），11-35 頁。
* 「フォワード・プレミアム・パズル：展望」，福田祐一・齊藤誠，『現代ファイナンス』1（1997），5-18 頁，巻頭論文。
* "Growth and risk sharing with incomplete international assets markets," Michael Devereux and Makoto Saito, *Journal of International Economics* 42 (1997), pp. 453-481.
* "A note on ergodic distributions in two-agent economies," Makoto Saito, *Journal of Mathematical Economics* 27 (1997), pp. 133-141 (the lead article of this issue).
「人口高齢化と消費の不平等度」，大竹文雄・齊藤誠，八田達夫・八代尚宏編『社会保険改革：年金，介護，医療，雇用保険の再設計』1998 年 5 月，日本経済新聞社。
* "A simple model of incomplete insurance: The case of permanent shocks," Makoto Saito, *Journal of Economic Dynamics and Control* 22 (1998), pp. 763-777.
* "Incomplete markets and non-expected utility," Makoto Saito, *Japanese Economic Review* 49 (1998), pp. 271-283.
* 「消費の世代間分配に関する実証研究」，齊藤誠，『日本経済研究』36: 7（1998），27-49 頁。
* "Estimating the effects of monetary shocks: An evaluation of different approaches," Paul Beaudry and Makoto Saito, *Journal of Monetary Economics* 42 (1998), pp. 241-260.
* "Population aging and consumption inequality in Japan," Fumio Ohtake and Makoto Saito, *The Review of Income and Wealth* 44 (1998), pp. 361-381.
* "Asset pricing in Japan: A communication," Katsura Nakano and Makoto Saito, *Journal of the Japanese and International Economies* 12 (1998), pp. 151-166.
"On numerical calculation programs of American-type options using GAUSS codes," Kenji Miyazaki and Makoto Saito, *Osaka Economic Papers* 48 (1998), pp. 25-54.
* "On the market risk involved in the public financial system in Japan: A theoretical and numerical investigation," Kenji Miyazaki and Makoto Saito, *Journal of Banking and Finance* 23 (1999), pp. 1243-1259.
「地方自治体の長期財政収支についてのメモ：実際的な計測」，齊藤誠，『大阪大学経済学』3（1999），233-240 頁。
* 「所得不平等化の背景とその政策的含意：年齢階層内効果，年齢階層間効果，人口高齢化効果」，大竹文雄・齊藤誠，『季刊社会保障研究』35（1999），65-76 頁。
* "Dynamic allocation and pricing in incomplete markets," Makoto Saito, *Monetary and Economic Studies* 17 (1999), pp. 45-75.
「高度化した資本市場におけるリスクと流動性：マーケット・メーカーとアービトラージャーの役割」，齊藤誠，『フィナンシャル・レビュー』51（1999），5-27 頁。
「金利期間構造の将来インフレーションに関する情報含意について」，福田祐一・齊藤誠，小佐野広・本多佑三編『現代の金融と政策』2000 年 1 月，日本評論社。
「フォワードディスカウントパズルと流動性効果」，齊藤誠・福田祐一，小佐野広・本多佑三編『現代の金融と政策』2000 年 1 月，日本評論社。
「昨今の金融政策について」，齊藤誠，『エコノミックス』2000 年春号，124-140 頁。
「自然災害リスク・マネジメントにおける市場システムと公的システム」，齊藤誠，『エコノミックス』2000 年秋号，148-160 頁。
「オプション取引データに基づいた状態価格密度の推計について：大阪証券取引所の事例」，齊藤誠・高木真吾，『インベストメント』第 53 巻第 2 号（2000），21-37 頁。

* 「世帯構成員の長期療養に起因する経済厚生の損失について：要介護者と寝たきりの経済的コスト」，岩本康志・小原美紀・齊藤誠，『季刊社会保障研究』36（2001），547-560 頁。
* "Financial crises as the failure of arbitrage: Implications for monetary policy," Makoto Saito and Shigenori Shiratsuka, Bank of Japan, *Monetary and Economic Studies* 19 (2001), pp. 239-270.
* 「日経平均株価の銘柄入れ替えが個別銘柄の流動性に与えた影響について：覚え書き」，齊藤誠・大西雅彦，『現代ファイナンス』9（2001），67-82 頁。

「日本の金融政策」，齊藤誠，『経済研究』52（2001），97-106 頁。

「世帯構成員の長期療養に起因する経済厚生の損失について：要介護者と寝たきりの経済的コスト」，岩本康志・小原美紀・齊藤誠，岩本康志編著『社会福祉と家族の経済学』2001 年 12 月，東洋経済新報社。

「情報技術の進展と株式取引の革新」，齊藤誠，『エコノミックス』2001 年春号，66-77 頁。

「財政政策と金融政策の新たな役割分担について」，齊藤誠，貝塚啓明編『財政政策の効果と効率性：サステナビリティを求めて』2001 年 7 月，東洋経済新報社。

「不良債権処理と銀行経営のあり方」，齊藤誠，『エコノミックス』2001 年秋号，32-40 頁。

「資産価格形成における流動性要因：覚え書き」，齊藤誠，『一橋論叢』第 126 巻 4 号（2001 年 10 月号），386-399 頁。

* "An empirical investigation of intergenerational consumption distribution: A comparison among Japan, the US, and the UK," Makoto Saito, in Seiritsu Ogura, Toshiaki Tachibanaki and David A. Wise eds., *Aging Issues in the United States and Japan* (2001), pp. 135-167, Chicago: The University of Chicago Press.

「流動性需要と資産価格形成：わが国の定期的決済慣行における検証」，齊藤誠・白塚重典・柳川範之・渡辺努，齊藤誠・柳川範之編著『流動性の経済学：金融市場への新たな視点』2002 年6 月，東洋経済新報社。

「国債の価格形成とコンビーニエンス：1990 年代後半の日本国債のケース」，福田祐一・齊藤誠・高木真吾，齊藤誠・柳川範之編著『流動性の経済学：金融市場への新たな視点』2002 年 6 月，東洋経済新報社。

「リスク移転機能から見た日本の金融システム」，齊藤誠，齊藤誠編著『日本の金融再生戦略：新たなシステムの構築をどうするか』2002 年 5 月，中央経済社。

「自然災害リスクと地価形成：リスク・シグナルとしての地価」，齊藤誠，西村清彦編著『不動産市場の経済分析：情報・税制・都市計画と地価』2002 年 6 月，日本経済新聞社。

* 「地震危険度と家賃：耐震対策のための政策的インプリケーション」，山鹿久木・中川雅之・齊藤誠，『日本経済研究』第 46 号（2002），1-21 頁。
* 「地震危険度と地価形成：東京都の事例」，山鹿久木・中川雅之・齊藤誠，『応用地域学研究』第 7 号（2002），51-62 頁。
* "Forward discount puzzle and liquidity effects: Some evidence from exchange rates among US, Canada, and Japan," Yuichi Fukuta and Makoto Saito, *Journal of Money, Credit, and Banking* 34 (2002), pp. 1014-1033.
* "A test of the full insurance hypothesis: The case of Japan," Miki Kohara, Fumio Ohtake and Makoto Saito, *Journal of the Japanese and International Economies* 16 (2002), pp. 335-352.
* 「市場メカニズムを通じた防災対策について」，山鹿久木・中川雅之・齊藤誠，『住宅土地経済』第 49 号（2003），24-32 頁。
* 「予備的動機と待ちオプション：わが国のマクロ家計貯蓄データによる検証」，齊藤誠・白塚重典，『金融研究』第 22 巻第 3 号（2003），1-22 頁。
* "Precautionary motives versus waiting options: Evidence from aggregate household saving in Japan," Makoto Saito and Shigeru Shiratsuka, *Monetary and Economic Studies* 21 (2003), pp. 1-20.

* 「大規模マクロショック後の流動性回復メカニズム：米国同時多発テロ直後の東京証券取引所」，井坂直人・齊藤誠，『現代ファイナンス』14（2003），79-96 頁。

* "On alternatives to aggregate demand policies to revitalize the Japanese Economy," Kiyohiko G. Nishimura and Makoto Saito, *Asian Economic Papers* 2: 3 (2004), pp. 87-126.

* "Preference for early resolution and commitment," Kenji Miyazaki and Makoto Saito, *Finance Research Letters* 1: 2 (2004), pp. 113-118.

「国債発行残高急増と金利リスク：国債管理政策における物価連動国債の可能性」，齊藤誠・竹田陽介，貝塚啓明・財務省財務総合政策研究所編著『財政赤字と日本経済』2005 年 4 月，77-100 頁，有斐閣。

「リスクファイナンスの役割：災害リスクマネジメントにおける市場システムと防災政策」，齊藤誠，多田納裕一・髙木朗義編著『防災の経済分析』2005 年 6 月，88-106 頁，勁草書房。

「ファイナンス・パズルへの誘い：フォワード・ディスカウント・パズルと政策ショック」，齊藤誠・福田祐一，大竹文雄編著『応用経済学への誘い』2005 年 10 月，137-158 頁，日本評論社。

* 「企業内キャッシュフローと企業価値：日本の株式消却に関する実証研究を通じての考察」，広瀬純夫・柳川範之・齊藤誠，『経済研究』56: 1（2005），30-41 頁。

* "A note on the robustness of the Tobin effect in incomplete markets," Makoto Saito and Yosuke Takeda, *Macroeconomic Dynamics* 10: 1 (2006), pp. 131-143.

* "What caused fixed investment to stagnate during the 1990s in Japan?: Evidence from panel data of listed companies," Keiichi Hori, Makoto Saito and Koichi Ando, *Japanese Economic Review* 57: 2 (2006), pp. 283-306.

"On effects of the Hyogo earthquake on household consumption: A note," Miki Kohara, Fumio Ohtake and Makoto Saito, *Hitotsubashi Journal of Economics* 47: 2 (2006), pp. 219-228.

「1990 年代の設備投資の停滞について：上場企業の財務データからの考察」，堀敬一・齊藤誠・安藤浩一，林文夫編著『経済制度の実証分析と設計』全 3 巻，第 2 巻『金融の機能不全』2007 年 1 月，3-34 頁，勁草書房。

「ABS 発行市場における劣後引受の役割」，井坂直人・大橋和彦・齊藤誠，林文夫編著『経済制度の実証分析と設計』全 3 巻，第 2 巻『金融の機能不全』2007 年 1 月，187-222 頁，勁草書房。

* "Earthquake risk and housing rents: Evidence from the Tokyo metropolitan area," Masayuki Nakagawa, Makoto Saito and Hisaki Yamaga, *Regional Science and Urban Economics* 37: 1 (2007), pp. 87-99.

"Forward discount puzzle and official interventions: An empirical note," Yuichi Fukuta and Makoto Saito, *Osaka Economic Papers* 57: 2 (2007), pp. 25-35.

* 「交通社会資本の危機管理とリスク・マネジメント」，齊藤誠，『国際交通安全学会誌』32: 2（2007），134-139 頁。

* "Earthquake risks and land prices: Evidence from the Tokyo metropolitan area," Masayuki Nakagawa, Makoto Saito and Hisaki Yamaga, *The Japanese Economic Review* 60: 2 (2009), pp. 208-222.

* 「家計消費と設備投資の代替性について：最近の日本経済の資本蓄積を踏まえて」，齊藤誠，『現代経済学の潮流 2008』2008 年 8 月，27-68 頁，東洋経済新報社。

* "Risk premiums versus waiting-options premiums: A simple numerical example," Kenji Miyazaki and Makoto Saito, *The B. E. Journal of Theoretical Economics* 9: 1 (2009), Article 7.

* "Incomplete financial markets, irreversibility of investments, and fiscal and monetary policy instruments," Kenji Miyazaki, Kiyohiko G. Nishimura and Makoto Saito, *Japanese Economic Review* 60: 3 (2009), pp. 271-300.

"On empirical implications of highly interest-elastic money demand: A Note," Kiyotaka Nakashima and Makoto Saito, *Hitotsubashi Journal of Economics* 50: 1 (2009), pp. 29-34.

* "Credit spreads on corporate bonds and the macroeconomy in Japan ," Kiyotaka Nakashima and Makoto Saito, *Journal of The Japanese and International Economies* 23: 3 (2009), pp. 309-331.

* "On the intergenerational sharing of cohort-specific shocks on permanent income," Kenji Miyazaki, Makoto Saito and Tomoaki Yamada, *Macroeconomic Dynamics* 14 (2010), pp. 93-118.

*「日本企業の流動性資産保有に関する実証研究：上場企業の財務データを用いたパネル分析」，堀敬一・安藤浩一・齊藤誠，『現代ファイナンス』27，2010 年 3 月，3-24 頁。

* "On the consumption insurance effects of long-term care insurance in Japan: Evidence from micro-level household data," Yasushi Iwamoto, Miki Kohara and Makoto Saito, *Journal of The Japanese and International Economies* 24 (2010), pp. 99-115.

「長期均衡への収斂としてみた金融危機：金融システム改革へのインプリケーション」，齊藤誠，『フィナンシャル・レビュー』2010 年第 3 号。

「経済学の基礎としての人間研究：学史的考察　パネル討論Ⅰ」，猪木武徳・堂目卓生・大竹文雄・松井彰彦・齊藤誠，『現代経済学の潮流　2010』2010 年 9 月，183-219 頁，東洋経済新報社。

「総会・理事会・常任理事会の議事から見た学会の歩み：学会統合から現代まで」，太田誠・齊藤誠・柴田章久，『日本経済学会 75 年史：回顧と展望』2010 年 10 月，65-162 頁，有斐閣。

「機関誌編集から見た日本経済学会の歩み」，齊藤誠，『日本経済学会 75 年史：回顧と展望』2010 年 10 月，165-191 頁，有斐閣。

「大会報告論文と機関誌経済論文から見る研究分野と研究スタイルの変遷」，齊藤誠・柴田章久・鈴木史馬・顧濤，『日本経済学会 75 年史：回顧と展望』2010 年 10 月，193-234 頁，有斐閣。

「討論 4　人間研究と新古典派経済学との距離感覚について：オーソドックスな経済学を擁護する立場から」，齊藤誠，『日本経済学会 75 年史：回顧と展望』2010 年 10 月，447-462 頁，有斐閣。

「ヘドニック・アプローチにおける地価公示データのパネル構造の活用について」，中川雅之・齊藤誠・山鹿久木，『住宅土地経済』79 (2011)，18-25 頁。

*「東京都における地域危険度ランキングの変化が地価の相対水準に及ぼす非対称的な影響について：　市場データによるプロスペクト理論の検証」，顧濤・中川雅之・齊藤誠・山鹿久木，『行動経済学』第 4 巻（2011），1-19 頁。

「東京都内の家計向け地震保険加入率・付帯率の決定メカニズムに関するノート」，齊藤誠・顧濤，『一橋経済学』第 5 巻第 1 号（2011），75-82 頁。

*「活断層リスクの社会的認知と活断層帯周辺の地価形成の関係について：上町断層帯のケース」，顧濤・中川雅之・齊藤誠・山鹿久木，『応用地域学研究』第 16 巻(2011)，27-41 頁。

「自己資本比率規制のマクロ経済学的な根拠について」，齊藤誠，『一橋ビジネスレビュー』第 59 巻第 2 号（2011），38-48 頁。

「普通の産業技術として見た軽水炉発電技術」，齊藤誠，『一橋ビジネスレビュー』第 59 巻第 4 号（2012），22-32 頁。

*「マンション再生投資に関する実証分析」，中川雅之，齊藤誠，『住宅土地経済』第 84 号(2012)，10-17 頁。

* "On the comparison of alternative specifications for money demand: The case of extremely low-interest rate regimes in Japan," Kiyotaka Nakashima and Makoto Saito, *Journal of The Japanese and International Economies* 26: 3 (2012), pp. 454-471.

* "Persistent catastrophic shocks and equity premiums: A note," Makoto Saito and Shiba Suzuki, *Macroeconomic Dynamics* 18: 5 (2014), pp. 1161-1171.

「技術的災害としての原発危機」，澤田康幸編『巨大災害･リスクと経済』，2014 年 1 月，165-196 頁，日本経済新聞出版社。

「活断層リスクの社会的認知の変化と周辺地価形成の関係の検証」，顧濤，中川雅之，齊藤誠，山鹿久木，『住宅土地経済』第 92 号(2014)，29-35 頁。

「老朽マンションの近隣外部性」，中川雅之，齊藤誠，清水千弘，『住宅土地経済』第 93 号（2014），20-27 頁。

「東日本大震災が日本人の経済的選好に与えた影響」，大竹文雄，明坂弥香，齊藤誠，齊藤誠編著『震災と経済』，247-280 頁，2015 年，東洋経済新報社。

「東日本大震災の家計消費への影響について：恒常所得仮説再訪」，郡司大志，齊藤誠，宮崎憲治，齊藤誠編著『震災と経済』，71-100 頁，2015 年，東洋経済新報社。

「東日本大震災の復興予算はどのように作られたのか？」，齊藤誠，中川雅之，顧濤，齊藤誠編著『震災と経済』，1-32 頁，2015 年，東洋経済新報社。

「防災集団移転事業などの復興政策の現状と課題」，中川雅之，齊藤誠，齊藤誠･野田博編著『非常時対応の社会科学：法学と経済学の共同の試み』，77-100 頁，2016 年，有斐閣。

「被災時の水平型支援に関する評価」，中川雅之，佐藤主光，宮崎毅，齊藤誠，齊藤誠･野田博編著『非常時対応の社会科学：法学と経済学の共同の試み』，101-119 頁，2016 年，有斐閣。

「行動規範としての非常時対応マニュアル：福島第一原子力発電所事故からの教訓」，齊藤誠，齊藤誠･野田博編著『非常時対応の社会科学：法学と経済学の共同の試み』，122-155 頁，2016 年，有斐閣。

「東日本大震災への対応に要した国民負担について」，齊藤誠，齊藤誠･野田博編著『非常時対応の社会科学：法学と経済学の共同の試み』，346-370 頁，2016 年，有斐閣。

「非常時における裁量と規範に関する若干の考察」，齊藤誠，齊藤誠･野田博編著『非常時対応の社会科学：法学と経済学の共同の試み』，391-419 頁，2016 年 3 月，有斐閣。

（c）翻訳

『新地平のマクロ経済学：ケインズとシュンペーターの再考』，ピーター･ホーイット著，岡村宗二･北村宏隆･齊藤誠編訳，1996 年 1 月，勁草書房。

『環境リスク管理：市場性と保険可能性』，ポール･フリーマン･ハワード･クンルーサー著，齊藤誠･堀之内美樹訳，2001 年 7 月，勁草書房。

（d）その他

キャス･サンスティーン著，田沢恭子訳『最悪のシナリオ：巨大にリスクにどこまで備えるのか』（みすず書房，2012 年 8 月）へ解説を寄稿。 解説掲載ページ 301-313 頁。

「行動経済学に基づいた新しい制度設計：住宅市場を中心として」，齊藤誠，『HQ』 2014 年冬号。

「金融政策で経済はよくなるのか：AS-AD モデルにおける景気循環に関する3つのパターンを踏まえて」，齊藤誠，『統計』2014 年 1 月号。

B. 最近の研究活動

（a）国内外学会発表（基調報告･招待講演には*）

日本金融学会 2012 年度春季大会･パネル討論「金融危機後の金融規制の新潮流」，2012 年 5 月 20 日，立正大学において「自己資本規制のマクロ経済学的な根拠について」を報告。

Panel discussion on The Electric Power Crisis in Japan, NBER Japan Project Meeting, June 29, 2012, Asian

Development Bank Institute, Tokyo.

"On the social and economic recovery from the Great East Japan Earthquake", 2013 年 3 月 26-28 日，El Colegion de Mexico（Mexico City, Mexico）にて講義。

日本経済学会秋季大会，パネル討論「日本国債」，2013 年 9 月 14 日，神奈川大学。

行動経済学会でパネルディスカッション『行動経済学で考える社会正義』を討論。（京都大学，2013 年 12 月 14 日）

日本応用経済学会春季大会で招待講演「東日本大震災に関する経済学的な論点整理について」を講演。（徳島大学，2014 年 6 月 22 日）

日本経済学会秋季大会，パネル討論「震災と経済学：経済学は何を学び，何をなすべきか」，西南大学，2014 年 10 月 12 日。

（b）国内研究プロジェクト

近未来の課題解決を目指した実証的社会科学研究推進事業，「高質の住宅ストックを生み出し支える社会システムの設計」（研究代表者・齊藤誠），2008 – 2012 年度。

科学研究費基盤研究 A，「ダウンサイジング環境における土地・住宅ストックの効率的再構築に関する研究」（研究代表者・齊藤誠），2012 – 2016 年度。

科学研究費挑戦的萌芽研究，「行動規範としての非常時対応マニュアルに関する行動経済学的研究」（研究代表者・齊藤誠），2016 – 2017 年度。

日本学術振興会委託研究「東日本大震災学術研究・マクロ経済班」2012 – 2014 年度。

課題設定による先導的人文・社会科学研究推進事業「非常時における適切な対応を可能とする社会システムの在り方に関する社会科学的研究」2013 – 2015 年度。

C. 受賞

2001 年，齊藤誠著『金融技術の考え方・使い方：リスクと流動性の経済学』にて，第 44 回日経・経済図書文化賞受賞。

2002 年，分担執筆，岩本康志編著『社会福祉と家族の経済学』にて，第 3 回 NIRA 大来政策研究賞受賞。

2005 年，分担執筆，西村清彦編著『不動産市場の経済分析：情報・税制・都市計画と地価』にて，平成 16 年度不動産学会著作賞（学術部門）受賞。

2007 年，日本経済学会・石川賞受賞。

2008 年，齊藤誠著『資産価格とマクロ経済』にて，第 48 回毎日新聞社エコノミスト賞受賞。

2010 年，第 17 回全国銀行学術研究振興財団・財団賞受賞。

2012 年，石橋湛山記念財団・第 33 回石橋湛山賞受賞。

2013 年，分担執筆，顧濤・中川雅之・齊藤誠・山鹿久木著「東京都における地域危険度ランキングの変化が地価の相対水準に及ぼす非対称的な影響について：市場データによるプロスペクト理論の検証」にて，行動経済学会・第 2 回アサヒビール最優秀論文賞受賞。

2014 年，紫綬褒章受章。

7. 学外活動

（b）所属学会および学術活動

東京経済研究センター，理事（会計担当）2002 年 5 月 – 2004 年 4 月。

日本経済学会（理論計量経済学会），理事 2002 – 2005 年。常任理事 2005 – 2008 年。
日本経済学会 75 年史編纂委員会委員 2008 年 4 月 – 2010 年 5 月。
日本ファイナンス学会，理事 2004 – 2006 年。
行動経済学会，理事 2014 年 –
金融学会
カナダ経済学会

（c）公開講座・開放講座

ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ 「眼球運動と経済行動：選択の決め手は目玉か脳味噌か」，2012 年 8 月 2 日，一橋大学にて開催。
横浜国立大学学術講演会，基調講演「原発危機の経済学」，2012 年 10 月 23 日，横浜国立大学。
アジア太平洋フォーラム，基調講演「原発政策と日本経済再生のあり方」，2013 年 8 月 2 日から 3 日，淡路島ウェスティンホテル。
一橋大学春季公開講座「『教養としての経済学』もう一歩先へ：生き抜く力を培うために」で「経済の成長と個人の成長」を講演，2014 年 4 月 26 日，一橋大学。
獨協大学創立 50 周年記念行事「フクシマの未来を考える：大学生のうちに知っておくべきこと」で「もう一度，東日本大震災直後の 6 ヶ月に戻って考え直してみよう」を講演，2014 年 10 月 18 日，獨協大学。
一橋大学政策フォーラム「非常時における行政対応：法学と経済学の共同の取り組みを通じて」，2015 年 9 月 4 日，ホテルメトロポリタン仙台（宮城県仙台市）。

8. 官公庁等各種審議会・委員会等における活動

「社団法人日本証券アナリスト協会試験委員会試験委員」（2004 年 11 月 – ）
「国家公務員第Ⅰ種試験（経済・記述）試験専門委員」（人事院）（2010 年度，2011 年度，2012 年度，2013 年度，2014 年度）
「東京電力福島原子力発電所事故調査委員会事務局客員調査員」（2012 年 1 月 – 2012 年 6 月）

9. 一般的言論活動

「異見達見　デフレの原因は物価にあらず」，『日経ヴェリタス』2012 年 5 月 27 日号。
「危機・先人に学ぶ　J・S・ミル」，日本経済新聞『やさしい経済学』2012 年 6 月 6 日から 6 月 18 日。
「石橋湛山賞受賞記念講演　原発危機の経済学：社会が原発を受け入れる条件とは？」，『自由思想』2012 年 12 月号。
「英語で講義すると失われるもの：文科省グローバル人材育成推進事業への疑問」，『中央公論』2013 年 2 月号。
「インタビュー　経済学は無力か」，朝日新聞『オピニオン』2013 年 2 月 27 日朝刊。
「『教養としての経済学』を編集して」，齊藤誠，『書斎の窓』2013 年 3 月号。
「異次元緩和の評価：資金，実体経済に回らず」，日本経済新聞『経済教室』2013 年 4 月 16 日。
「金融政策で経済はよくなるのか：AS-AD モデルにおける景気循環に関する 3 つのパターンを踏まえて」，『統計』2014 年 1 月号。
「行動経済学に基づいた新しい制度設計：住宅市場を中心として」，『HQ』2014 年冬号。
「経済学の視点からみる中央銀行の本質：金融政策にできることとは何か？」，齊藤誠・白川方明，『経済セミナー』2014 年 8・9 月号。

「アベノミクス 2 年㊤:『デフレ』の診断・処方箋誤る」, 齊藤誠, 日本経済新聞『経済教室』 2014 年 12 月 9 日。
週刊東洋経済『経済を見る眼』, 2014 年 6 月より 2016 年 1 月まで担当。
「日銀の追加緩和どうみる　国債直接引き受けは無謀」, 日本経済新聞『経済教室』 2016 年 8 月 8 日。
「自著を語る 『非常時対応の社会科学:法学と経済学の共同の試み』」, 齊藤誠,『書斎の窓』 2016 年 7 月号。
「ヘリコプターマネーと異次元金融緩和の比較考:あるいは『金融政策の形相』について」, 齊藤誠,『中央公論』 2016 年 10 月号。